

地域

変化する街をズームアップ

熊本の道 進むインフラ整備



▲豊肥線・立野駅付近では舗装工事に向けた工事が進む

九州新幹線鹿児島ルートと全線開業に伴う観光ルートの確保など県内各地でインフラ整備が急ピッチで進んでいる。工事が進む熊本北バイパスや南九州西回り自動車道、南阿蘇村立野地区などの建設現場取材した。

南阿蘇村立野地区 横軸の観光ルート整備へ

九州新幹線開業後の2次アクセスとして、最も期待される阿蘇観光ルート。その拠点として南阿蘇村立野地区の整備が進んでいる。同地区では国道57号の4車線化(拡幅)工事が、3月中の供用開始に向けピッチを上げている。

現在工事が進むのは全長6kmのうち、阿蘇大橋北側付近とIR豊肥線立野駅西側の3.6km。現在、同駅入口前後の舗装工事や豊肥線をまたぐ「立野跨線橋」は線路上に取り付けを終え、前後の盛土などが進んでいる。国道57号は熊本市と阿蘇、大分を結ぶ「横軸」の要衝。九州新幹線全線開業後の重要な観光ルートとして位置づけられ、大型連休などレジャーシーズンに常態化している渋滞の緩和に期待がかかる。



▲立野跨線橋南側、塗装が進行中の3工区付近

▲葉山パーキング(鶴羽田町)内に建つ石田橋の橋脚
また、熊本北部浄化センター(同市鶴羽田町)南側の住宅地に坪井川をまたぐ「石田橋」の橋脚や同市鶴羽田町などで市道をくぐるボックス型の地下道などが姿を見せ始めている。



熊本市内北部の交通渋滞を緩和する国道3号熊本北バイパス(熊本市新南部)同市四方寄町間7.6km)の整備が待たれている。08年3月までに熊本市麻生田から合志市須屋の国道387号(通称飛田バイパス)まで延伸し供用を開始。現在、四方寄町の国道3号との結節点まで1.8kmの工事を残している。

熊本北バイパス

地下道、橋脚が姿現す



▲熊本市鶴羽田の現場と国道387号の結節点。

フル稼働している。同区間ではこのほか、芦北IC南側の花園地区での切土工事や「女島橋」などの橋りょう工事が本格化。今後「湯浦」「女島」の2本のトンネル工事にも着手する。完成すれば、八代市-鹿児島市間を1時間半で結び、約2時間半の時間短縮効果を生む。



▲昨年11月に着工した津奈木トンネルの坑口

九州縦軸の幹線道路、南九州西回り自動車道・八代市-鹿児島市間約140kmの工事が着々と進んでいる。整備が進むのは芦北IC(芦北町花園)-津奈木IC(仮称)間の約7.7km区間。昨年11月下旬には同区間最長の「津奈木トンネル」(延長1848m)が着工、坑内では24時間態勢で重機が



▲トンネルの最先端部で進む「ドリルジャンボ」による掘削工事。昼夜24時間態勢で行われる

南九州西回り自動車道

津奈木トンネルが着工